



絆プロジェクト

～ 日常実践の充実を目指した教育活動へのチャレンジ ～

環境

ICT

体力向上

国際理解

キャリア

平成 29 年 2 月 17 日発行
No.20 文責 小林

キャリア

私達のくらしと身近な法律

先日、弁護士の方々をお招きして「私達のくらしと身近な法律」について、講義をいただきました。

まず、弁護士バッチをかたどっているひまわりは、「自由と正義」を表し、中心には「公正と平等」を意味する天秤が彫られていることをあげ、弁護士という仕事の根幹になる部分を確認されていました。その後、身の回りに起こり得る事案を「さるかに合戦」になぞらえて、わかりやすく説明してくださいました。その中で、「自分が弁護士だったらどのような判決を下すか？」と、問いかけられた場面では、各々の価値観で意見が分かれ、善悪の判断や罪の軽重をつけることが、いかに難しく責任のあることなのかを実感することができたようでした。

また、最後の質問コーナーで「1番弁護が難しかった犯罪は何ですか？」という質問に対し、「未成年の犯罪に対するサポートには気を遣います…」と答えられたのが、とても印象的でした。ただ罪名を付けるのではなく、子どもたちがしっかりと更生できるようにサポートをすること。子どもたちの未来を奪わないようにしつつ、しっかりと罪を償い、自らの犯した罪を見つめさせること。本当に難しい仕事だなあ…と感じました。

子どもたちの感想からも、他人の人生を左右する仕事の重みを感じ、その難しさや大変だからこそそのやり甲斐を知ること、弁護士という仕事に対しての知識が深まったことが読み取れます。



弁護士という仕事は、人の代わりに弁護し、トラブルを解決する大変な仕事だということを感じました。また、弁護士になるためには、沢山の壁を乗り越えなければならないと思いました。私は、この今回の話を聞き、政治や法律、弁護士、裁判関係のニュースや新聞を見るようになりました。そして、将来の夢についても「弁護士」の仕事に興味をもてるようになりました。

(1組 女子)

弁護士さんは、沢山のトラブルを解決しようと毎日毎日頑張っているんだなと思うと、良いことと悪いことは自分で判断して生活しようと思いました。あと、友達との約束と法律は必ず守ろうと思いました。

(1組 女子)

弁護士の皆さんが、とてもおもしろくて楽しみながら法律の勉強ができました。また、私達に一番身近な「約束」の大切さもわかりました。約束は、簡単にできるけど破るのも簡単だということを感じ、約束をしたからには絶対に守らないと相手が傷ついてしまうので、改めて約束は大切なんだと感じました。

(2組 女子)

今回の学習を通して、誰に対しても公正や平等を大切にすることや弁護士になるのはとても難しいことなど、いろいろなことがわかりました。初めて「人のために努力する」ってすごいと思いました。

(2組 男子)